



### 今年度も残りわずかか……

いよいよ今年度も、残すところ約二週間となりました。みなさん、レポートやテスト勉強に忙しい頃だと思えます。また、短大二年生・学部四年生は卒論提出も終わり、残りの学生生活を満喫しているところではないでしょうか？

昨年五月にB3が結成され、少しでも皆さんに利用していただける図書館を目指して、約一年活動してきました。私たちの活動はいかがでしたか？これから二年目、三年目とよりよい活動をしていきたいと考えています。

そこで、**B3の活動や図書館について、よい点や改善点など、気づいたことがあります！** **ぜひ私達にお伝えください！**皆さんの声を伺い、今後の活動に役立てていきたいと考えています。ぜひ、何かありましたら図書館へメールください！

また、すでに掲示してありますが、**B3のメンバーを募集しています！**私達と一緒に利用しやすい図書館作りを目指して活動してみませんか？あなたの参加を、お待ちしております☆

### 図書館カレンダー 2月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	

### 図書館カレンダー 3月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

詳しくは、図書館ホームページを御覧下さい。

### 図書館春休み中の日です！



黒…開館日

時間 8:45~18:00

緑…土曜開館日

時間 9:00~16:30

(2/9は13:00閉館)

青…春季休業開館日

時間 9:00~17:00

赤…休館日

**コメント**

鎖国が解かれた直後の明治四年に、岩倉具視を使節団長として伊藤博文、大久保利通、木戸孝允ら維新の中心的役割を担った人達が、一年九カ月をかけて、アメリカ、イギリス、フランス、ロシア、イタリア、スイス、スペインなど欧米十二カ国の視察を行いました。歴史の教科書によく出てくる紋付袴に短靴姿という奇妙なスタイルの岩倉の写真はこのときのものです。

使節団は鎖国解除後の新しい日本の将来像を求めて、さまざまな分野に対し異様な熱意をもって視察を行い、その結果を詳細に記録しました。それが本書です。

視察の対象になったのは、政治、経済、産業、技術、教育、文化などほとんど総ゆる分野に及んでいます。

私自身の興味は、日頃縁が深い技術の方面にあります。本書により、当時の欧米の技術事情がどのようであったかの一端を知ることが出来ます。長い鎖国によりわが国と欧米諸国の技術力の差は歴然としていましたが、それを何とか乗り越えようとする視察団の意気込みは並み大抵ではありません。不明の部分は行く先々の工場で質問しました。それに対し工場の責任者や技師達は好意的に対応し、疑問には親切に答えてくれました。

この視察は現在に比較すれば不自由な時代になされましたが、その後の日本の政策やいろいろな分野の方針の決定にさまざまな影響を与えたであろうことは想像に難くありません。本書を開く度に、その内容は別として、当時の日本人の気迫を強く感じます。



今回おススメ本を紹介してくださった先生は、

### 先生方のおススメ本

文化心理学科

「高哲夫先生」です。

おススメ本

「米欧回覧実記(一)~(五)」

久米邦武編

田中彰校注

